

女性のつながりサポート事業【糸満市】

総事業費	4,477 千円
交付金額	2,238 千円

地域の実情と課題

本市の産業分類では、第三次産業の比率が高く増加傾向にある。男女別産業構造分類就業者では、男性は「建築業」、「卸売・小売業」となっており、女性は「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」が多くなっている。正規雇用の割合では男性:5割、女性:3.5割、また非正規雇用の割合でも男性:1.5割、女性:5割となっており男女の差が生じている。

目的・目標

コロナ禍による、就業先から解雇されるなど生活や仕事への不安や閉じこもりから起こるDV被害。子育てや介護に関する女性の困難や不安の解消をNPO法人の知見やノウハウを活用し、孤独・孤立・自殺対策などを図るため支援を実施する

【目標】相談件数500件 生理用品提供数600件
 【実績】相談件数411件 生理用品提供数1884件

事業の特徴

- NPO法人による
- ①経済的な理由による生理用品の購入が困難な方への支援。
 - ②就労やDVなど様々な不安を抱える女性への相談に応じるため、電話やメールでの相談機会の提供(必要に応じてアウトリーチも実施)。
 - ③孤独や孤立の状態にある不安を抱える人に対して、ピアサポートのための居場所提供。

連携団体

委託先「NPO法人 子育て応援隊いっぽ」

拠点型こどもの居場所整備事業や小規模保育所事業、ファミリーサポート事業などで培った経験を生かし、生理用品の配布、電話・メール相談のほかに訪問相談、ピアサポート等を実施。

個々の悩みに応じて糸満市マザーズスクエアいいまある、くらしのサポートセンターきづき(社会福祉協議会)など支援機関に繋ぎ支援を行った。

事業の効果

困難を抱える女性をターゲットとした事業で周知に時間を要したが、市内の公共施設や学校などの協力により周知用の生理用品などを広く設置することができた。また、相談についても、電話やメール、窓口での相談や訪問による相談などを実施。目標相談数(500件)に対し実績411件ピアサポート交流会では同じ悩みを抱えている方とつながる機会も提供することができた。

今後の課題

・周知において、困難を抱える女性をどのように掘り起こすかが課題になると考えており、地域の実情に詳しい自治連絡員や民生委員などにも協力を求め広く周知し、悩みを抱えている女性に対し相談につなげて支援していきたい。

女性のつながりサポート事業



【事業概要】

不安を抱える女性支援のためNPO法人を窓口として、相談・訪問支援、居場所の提供を行う。

糸満市

委託

NPO法人 子育て応援隊いっぽ

【業務内容】

- ①電話・メール相談
- ②来所・訪問相談
- ③生理用品の配布
- ④ピアサポート相談
- ⑤カウンセラー等専門相談

必要に応じて、支援機関
いいまある（ひとり親家庭生活支援）、
きづき（自立相談支援・就労訓練事業 他）
等へ繋ぐ。

【協力施設】 ※生理用品等の提供場所

- ・小中学校・高校（17校）
- ・保育施設（44施設）
- ・子育て支援センター（2か所）、
- ・児童館（2箇所）、
- ・障がい者地域活動支援センター
- ・児童デイサービス（2箇所）
- ・子どもの居場所
- ・公共プール
- ・市役所、社協 等



ピアサポートの様子